（H24.6.21追加）

（維管束植物）ー緑化利用により影響の拡大が懸念されるもの

No	科名	和名	学名	ﾗﾝｸ	定着	国指定の状況	本県での影響											分布 △：古い記録、不確実な情報、可能性高いもの						影響を及ぼすフィールド									備考
							生物多様性への影響				産業影響					人への影響																		
				Z・・・警戒種 Y・・・注意種	○：定着 △：定着の怖れが高いもの	特定（特定外来生物） 要注意（要注意外来生物）	競合、捕食、駆逐など	交雑による遺伝的撹乱	在来生物への病原菌、寄生虫などの媒介	生態系基盤の改変	農業への影響	林業への影響	漁業への影響	利水・治水障害	景観への影響	人への健康被害	人への直接被害	神戸・阪神	播磨東部	播磨西部	但馬	丹波	淡路	池沼・湖沼	河川・水路（河川敷含む）	水田・畑地	湿地	干潟・塩性湿地	海浜・沿岸	草地	森林	市街地	
H24-1	マメ	メドハギ（県外産・国外産）	*Lespedeza juncea* (L. fil.) Pers. var. *subsessilis* Miq	Z				○																						○	○	○	法面緑化に使用される外国産（兵庫県外産）の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的撹乱が危惧される。
H24-2	マメ	ヤマハギ（県外産・国外産）	*Lespedeza bicolor*	Z	○			○																						○	○	○	法面緑化に使用される外国産（兵庫県外産）の在来種で、本来自生している在来種との競合や遺伝的撹乱が危惧される。

（H24.6.21削除）

41	クマツヅラ	ヒメイワダレ	*Phyla incisa* Small	Y	○		○																							○			栄養繁殖が旺盛で、優占群落化が懸念される。今後の影響が危ぶまれる。 （削除理由）外来種である本種を緑化に使用することを推薦するわけではないが、植栽後の影響（繁殖状況やその他の植生に与える影響）を確認したところ、侵略的植物とまでは見なせない状況であるため削除する。